

県肝疾患診療連携拠点病院
山口大学医学部附属病院 肝疾患センター主催

平成23年度 第1回肝疾患研修会 開催報告

山口大学医学部附属病院
肝疾患センター事務局
笠井直樹

山口大学医学部附属病院肝疾患センターでは、山口県肝疾患診療連携拠点病院の事業として、毎年肝疾患診療に携わる方を対象とした、肝疾患研修会を開催しています。

この度、平成23年10月31日（月）に宇部全日空ホテルにて、平成23年度第1回肝疾患研修会を開催しました。附属病院の職員の他にも、院外の医師や看護師、薬剤師といった方々が計153名受講されました。

〔第一部〕「一般講演」

寺井 崇二副肝疾患センター長を司会として、県（行政）・医師・看護師・事務部門という、それぞれの立場から、肝疾患診療の現状報告が行われました。

県（行政）からは、山口県健康増進課の山根先生から近年の肝炎対策についての動向、山口県肝炎治療費助成制度についての受給状況や申請書の記載時の注意点について説明がされました。

本院からは、様々な立場からの肝疾患診療支援について報告を行いました。医師の立場として、肝疾患センターの日高先生から山口県における肝疾患診療連携の現状と課題について、地域連携パスや肝炎パスポートの紹介がされました。看護師の立場からは、看護部の吉本先生から肝疾患ワーキンググループの活動について、それぞれ取り組み状況の報告をしました。また、11月13日に開催される“山口元気フェア”に参加し、啓蒙活動を行うことも紹介されました。本院では、肝疾患診療支援の一環として、肝疾患センターホームページによる情報提供を行っています。この度、報告した内容がホームページに掲載されている旨を各演者が紹介しました。

第一部では、本院の状況報告のみではなく、行政の立場や他医療機関の肝疾患診療支援についての報告を行う事ができました。

〔第二部〕「特別講演」

坂井田 功肝疾患センター長を司会として、東京医科大学 茨城医療センター長の松崎靖司先生をお迎えして、特別講演を行いました。茨城医療センターでは、肝疾患の診療連携事業について、全国的にも盛んな医療機関であり、松崎先生からは、肝疾患に関する話の他に、慢性肝疾患診療の最前線の取り組みについて講演をしていただきました。

「慢性肝疾患診療の最前線 ～地域医療連携と治療費助成をめぐる～」と題して、肝がんに関する最新情報やガイドラインについての説明、また、茨城医療センターで行われている肝疾患の診療連携について、丁寧に解説していただきました。

質疑応答では、日常の肝疾患診療業務において、苦慮している点についてアドバイスをいただき、大変有意義な講演となりました。

この度は、県内の医療機関の方々に研修会を受講して頂き、誠にありがとうございます。肝疾患センターでは、これからも医療従事者や市民の方々に向けた研修会を計画していきますので、多数の皆様の参加をお待ちしております。今後ともよろしくお願い申し上げます。

《研修会風景》

